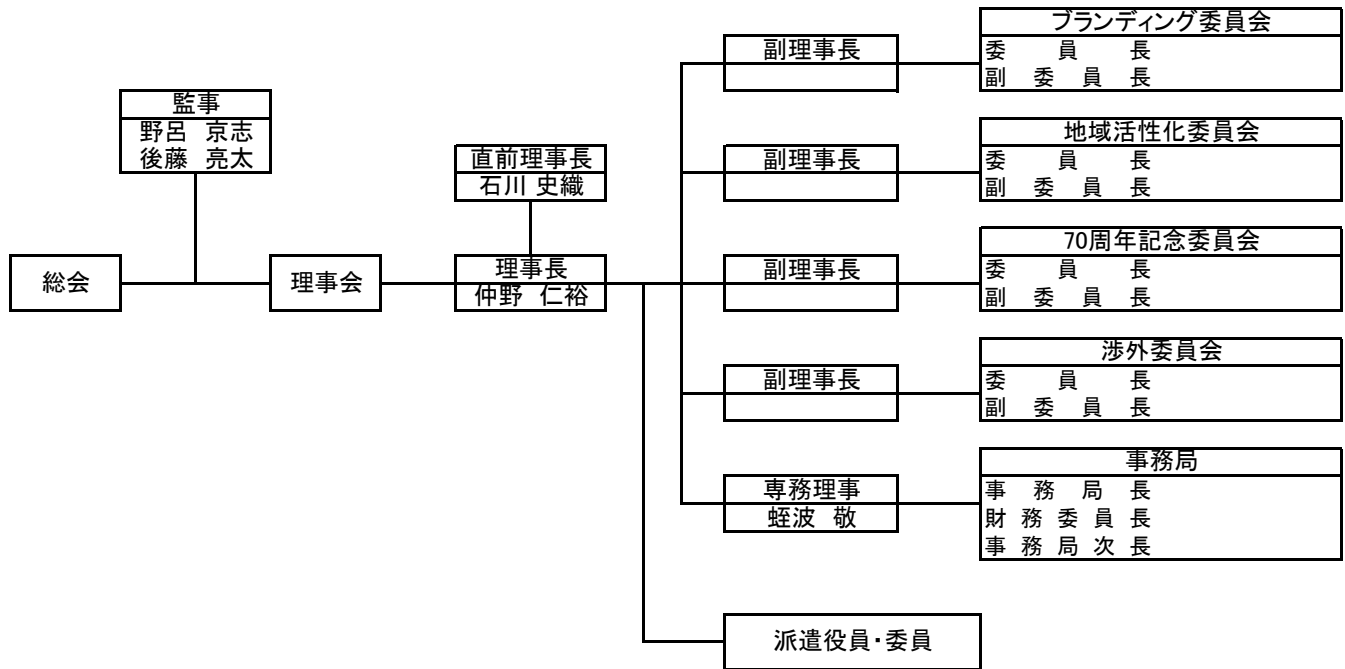


## 一般社団法人四日市青年会議所 2025年度 組織図(案)



一般社団法人四日市青年会議所の委員会にブランディング委員会、地域活性化委員会、70周年記念委員会、渉外委員会を設置する。併せて本会議所の運営規程を以下の通り変更する。

### 運営規程 第三章 委員会

第4条 本会議所定款第47条に基き次の委員会を設置する。  
委員会は、その性格、内容等に応じて室に分類される。

1. 事務局
2. ブランディング委員会
3. 地域活性化委員会
4. 70周年記念委員会
5. 渉外委員会
6. その他特別委員会（複数可）

第5条 事務局は、本会議所の運営を円滑に行うことを目的とし、定款並びに諸規程の検討、会員の出席の把握、文書管理、事務連絡、事務局職員の管理、褒賞等庶務を総括するとともに、財務担当者を置き、資金計画、財政計画、経理処理、会計手続き、決算書作成等財務に関する一切の事項を処理する。また、本会議所のPR活動を積極的に行い、その記録等の維持管理を行う。

第6条 ブランディング委員会は、本会議所の会員拡大を目的とする。会員拡大窓口及び新入会員研修を担い、新入会員や入会候補者の情報を各委員会から収約、共有し、多様な価値観を持つ持続可能な組織に必要な新入会員を発掘する。また、新入会員も含め会員の**資質向上に努め**、組織としてのブランディングをより強固なものにし、**発信する**。

第7条 地域活性化委員会は、多角的な視点から地域の活性化に寄与し、笑顔溢れる豊かなまちを創造することを目的とする。未来を担う健全で心豊かな青少年や地域の人財の育成、まちの活性化を目的とした事業、調査研究、研修会、討論会、セミナー等を開催する。また、青少年育成基金サルビア基金の事務局を担当し、関連事業が円滑に実施されるよう努める。

第8条 70周年記念委員会は、時代に即した「明るい豊かな社会」を実現するにあたり、過去を知り新たな可能性を考え、より力強い青年会議所運動につなげることを目的とする。青年会議所の理念である「明るい豊かな社会の実現」は、変化しないが時代は常に変化し続けており、時代の先端を歩み続ける組織であるためにも、今までの青年会議所を紐解き、新たな運動の可能性と未来を**描き、70周年記念となる事業や例会を開催する**。

第9条 渉外委員会は、各地会員会議所・姉妹JCとの交流窓口となり、新たな学びが得られる機会への参加推進を促すことを目的とし、会員交流**や対外との交流も担当し、パートナーや家族を対象とした例会を開催する**。また、一括預り金の管理も担当し、**適正に運営されるように努める**。